

# 「地域福祉計画」「障害者基本計画」「健康づくり推進プラン」中間のまとめ

## 市民の皆さんのご意見を募集します

平成14年度に中間のとりまとめをした「地域福祉計画」、「障害者基本計画」および「健康づくり推進プラン」について、その概要をお知らせします。また、中間のまとめについて市民の皆さんのご意見を募集します。なお、各計画の中間のまとめの詳しい内容については、市ホームページ、両庁舎の情報公開コーナーでご覧になれます。

## 「中間のまとめ」に対する

## 市民の皆さんのご意見を募集します

### 「地域福祉計画」

### 「障害者基本計画」

### 「健康づくり推進プラン」

パブリックコメント(市民意見提出制度・1面参照)に基づき皆さんの意見を募集します。  
提出方法 次のいずれかの方法で、住所・氏名・対象案件名(○計画)を明記し、提出してください。  
○計画)を明記し、提出してください。  
郵便(〒202 8555 西東京市役所保谷庁舎各計画担当課あて) ファクス(☎23・4321) 電子メール(西東京市ホームページから) 提出期間 5月15日～6月13日(必着) 検討結果の公表 8月(予定) 市報・市ホームページ・情報公開コーナーで

## 地域福祉計画

計画の目的 地域福祉とは、誰もが住み慣れた地域の中で、質の高いサービスを利用しながら、安心して暮らし、自分らしい生き方を実現できることを目指すものです。  
市では、地域福祉の主体である市民やサービス提供事業者、NPO等の参加を得て、利用者が適切にサービスを利用できるための事項、良

質で十分な量のサービスを確保するための事項、住民参加による地域福祉の活動を進めるための事項等を盛り込んだ、新しい地域福祉計画を策定します。  
計画の期間 平成16年度から20年度までの5年間を計画期間とし、3年ごとの見直しを行う予定です。  
地域福祉の主な取り組み

地域福祉の推進に向けたこれまでの主な取り組みは次のとおりです。  
1 地域福祉の基盤づくり  
○市民の主体的な活動への支援  
ファミリー・サポート・センターの設置(平成13年9月1日)、市民、NPO団体、職員対象のNPO講演会をNPO連絡会と共同開催、社会福祉協議会でボランティア活

○人材育成  
ホームヘルパー養成研修の開催、ガイドヘルパーレベルアップ研修の開催  
○その他  
基幹型在宅介護支援センターの設置(平成14年10月1日) 地域福祉をめぐる課題  
今後、地域福祉をさらに推進していくための課題として、次のことがあげられます。  
1 地域で支える福祉の基盤づくり  
○市民一人ひとりの参画と協力、さまざまな組織の連携など、地域に根ざす福祉のネットワークづくり  
○わかりやすい情報提供や個人の尊厳を守る仕組みなど、利用者支援の体制整備  
○ユニバーサルデザインや防災・防犯など、誰もが快適に暮らせるまちづくり  
2 誰もがよりよく生きるための多様な支援  
○健康づくりや自立した生活への支援など、健やかに暮らせる地域づくり  
○個人の知恵や技を地域に生かす工夫など、生きがいを持つて暮らせる地域づくり  
○一人ひとりに応じた保健福祉サービスの提供  
○サービスの利用に結びついていない潜在的な要支援者への対応  
3 自ら選び満足できるサービスの確保  
○人材の育成・確保、サービスの質の確保  
○選択できる十分なサービスの量の確保  
4 地域福祉の推進  
○計画の推進体制づくり  
○進行管理のしくみづくり  
○財源の確保

計画の理念  
これから「一人ひとりが何をすべきか」、「どんなまちにしたいか」を計画の目指すもの「理念」として、次のように設定します。  
【わたしたちの取り組み】  
一人のためにみんなのためにできることからはじめよう  
すべての人が、自分のために、周りの人のために、まですることからはじめよう  
西東京市の地域福祉の第一歩として、  
【わたしたちがめざすまなび】  
声をかけあい手をつなぎ一人ひとりがよりよく生きる ほんとする  
さまざまな個性をもった人が集まる西東京市で、お互いに声かけや手助けをしながら、一人ひとりがよりよく生きることができ、安心・安全のまちをめざします。

この理念は、地域福祉を進めるうえで基本となる、次のような理念を含んでいます。  
誰もが幸せに、よりよく生きること(ウェルビーイング) いつでも誰もが平等に社会にかかわりをもてること(ノーマライゼーション)  
【わたしたちがめざすまなび】  
声をかけあい手をつなぎ一人ひとりがよりよく生きる ほんとする  
さまざまな個性をもった人が集まる西東京市で、お互いに声かけや手助けをしながら、一人ひとりがよりよく生きることができ、安心・安全のまちをめざします。

平成15年度の検討課題  
平成15年度には、以下の事項を検討します。  
重点施策や事業の検討  
計画の推進方策推進体制、進行管理)の検討  
市民意見の計画への反映  
保健福祉総合調整課(☎21内線2313)

このままの検討結果  
障害者基本計画検討委員会では、障害者の生活状況や障害者を取り巻く状況等について、まずお互いに理解を深めていくことが大切であると考へ、本計画や今後の障害者施策の方向性等についても、できる限りいろいろな意見を聴きながら広い視野に立つて検討を進めてきました。  
昨年12月には、検討委員会主催による「障害者を持った方の意見を聴く会」が2会場で開催されました。  
計画の基本的な考え方  
障害のあるなし、あるいは障害の種類や程度にかかわらず、地域社会全体から必要な支援を得ながら、誰もが快適に暮らせるまちづくりを進める  
今後の方向性  
以下の方向性は、検討委員会でのこれまでの意見交換や、障害を持った方の意見を

よく生きる ほんとする  
さまざまな個性をもった人が集まる西東京市で、お互いに声かけや手助けをしながら、一人ひとりがよりよく生きることができ、安心・安全のまちをめざします。

「わたしたちがめざすまなび」  
声をかけあい手をつなぎ一人ひとりがよりよく生きる ほんとする  
さまざまな個性をもった人が集まる西東京市で、お互いに声かけや手助けをしながら、一人ひとりがよりよく生きることができ、安心・安全のまちをめざします。

【わたしたちがめざすまなび】  
声をかけあい手をつなぎ一人ひとりがよりよく生きる ほんとする  
さまざまな個性をもった人が集まる西東京市で、お互いに声かけや手助けをしながら、一人ひとりがよりよく生きることができ、安心・安全のまちをめざします。

【わたしたちがめざすまなび】  
声をかけあい手をつなぎ一人ひとりがよりよく生きる ほんとする  
さまざまな個性をもった人が集まる西東京市で、お互いに声かけや手助けをしながら、一人ひとりがよりよく生きることができ、安心・安全のまちをめざします。

【わたしたちがめざすまなび】  
声をかけあい手をつなぎ一人ひとりがよりよく生きる ほんとする  
さまざまな個性をもった人が集まる西東京市で、お互いに声かけや手助けをしながら、一人ひとりがよりよく生きることができ、安心・安全のまちをめざします。

【わたしたちがめざすまなび】  
声をかけあい手をつなぎ一人ひとりがよりよく生きる ほんとする  
さまざまな個性をもった人が集まる西東京市で、お互いに声かけや手助けをしながら、一人ひとりがよりよく生きることができ、安心・安全のまちをめざします。

【わたしたちがめざすまなび】  
声をかけあい手をつなぎ一人ひとりがよりよく生きる ほんとする  
さまざまな個性をもった人が集まる西東京市で、お互いに声かけや手助けをしながら、一人ひとりがよりよく生きることができ、安心・安全のまちをめざします。

【わたしたちがめざすまなび】  
声をかけあい手をつなぎ一人ひとりがよりよく生きる ほんとする  
さまざまな個性をもった人が集まる西東京市で、お互いに声かけや手助けをしながら、一人ひとりがよりよく生きることができ、安心・安全のまちをめざします。

【わたしたちがめざすまなび】  
声をかけあい手をつなぎ一人ひとりがよりよく生きる ほんとする  
さまざまな個性をもった人が集まる西東京市で、お互いに声かけや手助けをしながら、一人ひとりがよりよく生きることができ、安心・安全のまちをめざします。

【わたしたちがめざすまなび】  
声をかけあい手をつなぎ一人ひとりがよりよく生きる ほんとする  
さまざまな個性をもった人が集まる西東京市で、お互いに声かけや手助けをしながら、一人ひとりがよりよく生きることができ、安心・安全のまちをめざします。

【わたしたちがめざすまなび】  
声をかけあい手をつなぎ一人ひとりがよりよく生きる ほんとする  
さまざまな個性をもった人が集まる西東京市で、お互いに声かけや手助けをしながら、一人ひとりがよりよく生きることができ、安心・安全のまちをめざします。

【わたしたちがめざすまなび】  
声をかけあい手をつなぎ一人ひとりがよりよく生きる ほんとする  
さまざまな個性をもった人が集まる西東京市で、お互いに声かけや手助けをしながら、一人ひとりがよりよく生きることができ、安心・安全のまちをめざします。

【わたしたちがめざすまなび】  
声をかけあい手をつなぎ一人ひとりがよりよく生きる ほんとする  
さまざまな個性をもった人が集まる西東京市で、お互いに声かけや手助けをしながら、一人ひとりがよりよく生きることができ、安心・安全のまちをめざします。

